

平成20年度(2008年度) 建設コストの計画と実績

[単位:百万円(消費税込み)]

道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)				(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
		平成19年度まで (B)	平成20年度 (C)	計 (D) = (B) + (C)		
北関東自動車道 桜川筑西IC～笠間西IC新設事業 8.9km	32,568	0	24,574	24,574	7,993	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も立入防止柵の設置や移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
東北縦貫自動車道弘前線 黒磯板室IC新設事業	1,471	0	1,233	1,233	237	IC新設は完成し供用を開始しているが、開通後も移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
東北横断自動車道いわき新潟線 いわきJCT～いわき三和IC改築事業	7,059	0	5,490	5,490	1,568	本線拡幅は完成し供用を開始しているが、開通後も側道整備工事等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
東北横断自動車道いわき新潟線 差塩PA～小野IC改築事業	4,715	0	3,852	3,852	862	本線拡幅は完成し供用を開始しているが、開通後も側道整備及び工事に伴う家屋補償といった事業損失補償等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
北関東自動車道 波志江PA新設事業	3,442	2,076	49	2,126	1,315	埋蔵文化財発掘調査における発掘量の変更及び供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
一般国道16号(横浜横須賀道路) 佐原IC～馬堀海岸IC新設事業 4.3km	27,119	0	22,318	22,318	4,800	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も環境整備工や移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 阿見東IC～稲敷IC新設事業 6.0km	2,278	0	1,615	1,615	662	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も立入防止柵の設置の残事業を引続き実施する必要があること等による。
一般国道16号(京葉道路) 幕張PA改築事業	4,766	2,464	1,462	3,927	838	PA改築は完成し供用を開始しているが、開通後も移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
富津館山道路 鋸南富山IC～富浦IC改築事業	394	45	130	175	218	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 狭山PA新設事業	3,545	0	2,878	2,878	667	埋蔵文化財発掘調査の発掘量の変更及び供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
北海道縦貫自動車道函館名寄線 八雲IC～国縫IC新設事業	9,411	8,561	508	9,070	340	工事完了に伴う事業損失補償箇所の確定及び供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
北関東自動車道 真岡IC～桜川筑西IC新設事業 14.9km	44,095	0	30,635	30,635	13,459	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も護岸復旧工事や移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
東北横断自動車道いわき新潟線 船引三春IC～郡山東IC改築事業	4,615	0	3,110	3,110	1,505	本線拡幅は完成し供用を開始しているが、開通後も側道整備工事等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
東関東自動車道千葉富津線 木更津JCT改築事業	5,676	3,326	248	3,575	2,100	関係機関との事業調整に伴う用地取得額の見直し及び供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
北関東自動車道 壬生PA新設事業	2,826	0	1,479	1,479	1,346	PA新設は完成し供用を開始しているが、開通後も調整池の整備や移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
北関東自動車道 笠間PA新設事業	2,146	0	908	908	1,238	PA新設は完成し供用を開始しているが、開通後も移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路) 木更津東IC～木更津JCT新設事業	9,193	7,820	856	8,677	515	供用の開始に伴う工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
一般国道16号(京葉道路) 蘇我IC改築事業	2,977	2,338	133	2,471	506	工事完了に伴う事業損失補償箇所の確定及び供用の開始に伴う工事数量の確定等により、差額が生じたもの。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成20年度修繕事業	63,721	-	24,580	24,580	39,140	事業計画の見直し、関係機関協議による工事発注時期の見直し及び複数年度工期設定等に伴う機構引渡し時期の見直しによる。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	62,274	23,095	11,851	34,946	27,327	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定していた。平成20年度は、H19年度に発生した中越地震、集中豪雨で被災した箇所の復旧工事、また、H20年度に発生した岩手・宮城県内陸地震、集中豪雨で被災した箇所等の復旧工事を実施した。

注1)平成20年度(2008年度)に債務引受けを行ったものを継続中事業を含めすべて記載している。なお、[ ]は、平成20年度に完了している事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成20年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成19年度の債務引受額(実績)を控除している額である。